

涌谷伊達家ゆかりの人々を祀る お子様廟

涌谷伊達家では、館主と正室以外の子女やゆかりの人々を「お子様廟」と呼ばれる場所に葬った。

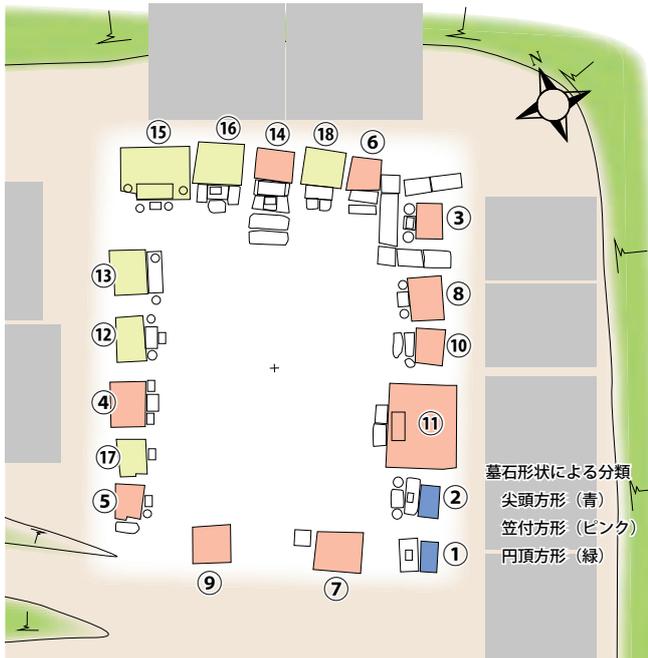
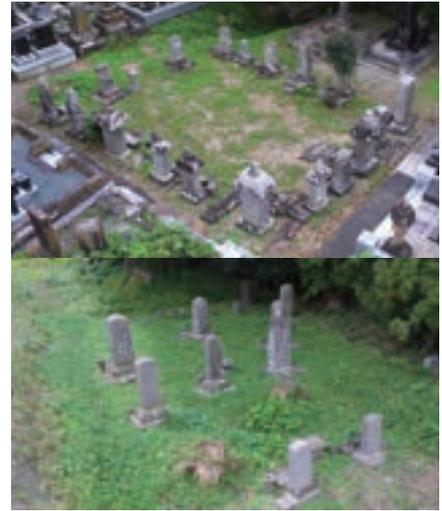
菩提寺「見龍寺北方」と隣接する「龍瀨寺西方」の2ヶ所にある。

見龍寺北方の「お子様廟」は寛永年間に亡くなった伊達宗実夫妻を祀った事に始まると伝承される。

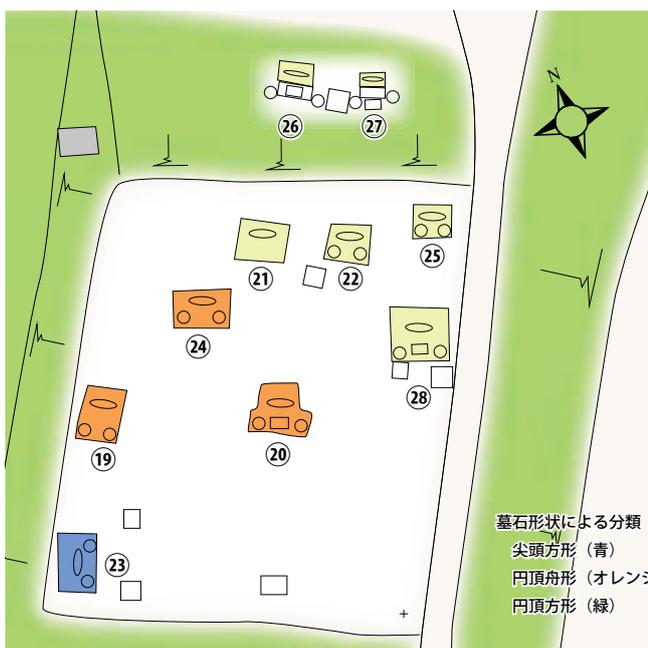
墓所に祀られた人々の経歴や墓石形状を詳しく調べると、幼少期

に早世した子女は見龍寺北方に、一度他家へ出たものの何らかの理由により涌谷へ戻った子女などは龍瀨寺西方にと、当初は墓所毎に区分があったようであるが、1830年代(天保年間)以降になると、見龍寺北方「お子様廟」のみが使用されるようになった事が伺える。

涌谷伊達家を支えた、ゆかりの人々を偲ぶ重要な場所である。



涌谷伊達家子女墓所・お子様廟（見龍寺）の配置



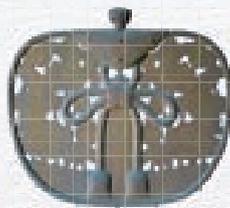
涌谷伊達家子女墓所・お子様廟（龍瀨寺）の配置

番号	没年	続柄・氏名 (系図では、桃色で表記)	法号
①	1635・寛永12年4月22日	(伊達政宗3女・宗実正室)	清浄院殿樹岑蔭涼大姉
②	1639・寛永16年8月23日	(定宗第1子)宗実	谷陽院殿實壯玄真大居士
③	1699・元禄12年7月13日	(村元第4子)	智心珠光童女
④	1711・正徳元年9月27日	(村定第2子)叔	瓊雲智英童女
⑤	1714・正徳4年5月14日	(村定第4子)テイ	梅心智脱童女
⑥	1714・正徳4年9月24日	(村定第3子)益	蘭曉惟秀禪童女
⑦	1720・享保5年4月5日	(村定第7子)ハイ	幻海了漚童女
⑧	1721・享保6年8月1日	(村定第8子)従	心鑑常照童女
⑨	1773・安永2年9月25日	(村倫第2子)茂登	桂雲浄香童女
⑩	1781・天明元年7月4日	(村常第2子)恒	貞室智亮童女
⑪	1814・文化11年4月11日	(村清第2子)千熊	玉相良珍童子
⑫	1832・天保3年9月25日	(村常第9子)坂南直	慈雲院通巖普居士
⑬	1834・天保5年7月11日	(村常第8子)任行	唯心院園海玄通居士
⑭	1842・天保13年6月20日	(義基第3子)	瑠顔妙禪童女
⑮	1855・安政2年6月5日	(藤村倫茂娘・村清副室)嘉保	淳心院殿蓮雲瑤基大姉
⑯	1878・明治11年1月21日	(義基第2子)村岡此面	文教院殿柏堂凌雲居士
⑰	1881・明治14年4月19日	(胤元第2子)綾	幻夢浮漚童女
⑱	1882・明治15年4月26日	(此面夫人)金尾列子	妙松院心月幽窓大姉

番号	没年	続柄・氏名 (系図では、緑色で表記)	法号
⑲	1702・元禄15年3月29日	(宗元第4子)砂金重常	華陽院殿實參了悟大居士
⑳	1706・寶永3年9月8日	(村元第2子・石川村弘夫人)安子	佛覺院殿桂基浄林大姉
㉑	1746・延享3年5月26日		眞月慧観大姉
㉒	1776・安永5年6月14日		寶壽院智性妙光尼大姉
㉓	1784・天明4年1月16日	(村盛第1子)葛西順	體雲院殿圓巖明鏡大姉
㉔	1796・寛政8年8月3日	(村常第3子・伊達村福夫人)良	桂光院殿月窓明艶大姉
㉕	1818・文政元年9月24日		智光院惠漚妙瑾大姉
㉖	1825・文政8年3月26日		快養妙樂信女
㉗	1830・文政13年10月17日	(村岡授母)	法蓮妙珠信女
㉘			瑠草院球室妙琳大姉

涌谷の文化財

VII 涌谷伊達家墓所編



既刊「涌谷の文化財」一覧

I 原始・古代編	昭和 55 年 3 月 31 日	発行
II 中 世 編	昭和 54 年 3 月 15 日	発行
III 近 世 編	昭和 53 年 3 月 31 日	発行
IV 民 俗 編	昭和 56 年 3 月 31 日	発行
V 天然記念物増補改訂版	平成 2 年 3 月 31 日	発行
VI 近代人物編	平成 28 年 3 月 31 日	発行

涌谷の文化財 VII 涌谷伊達家墓所 編

平成 30 年 3 月 31 日 印刷・発行

平成 31 年 3 月 31 日 改訂・増刷

発行 涌谷町教育委員会

宮城県遠田郡涌谷町字新町裏 153 番地 2

印刷 株式会社 鈴木印刷所
